適用病害と使用方法（抜粋）

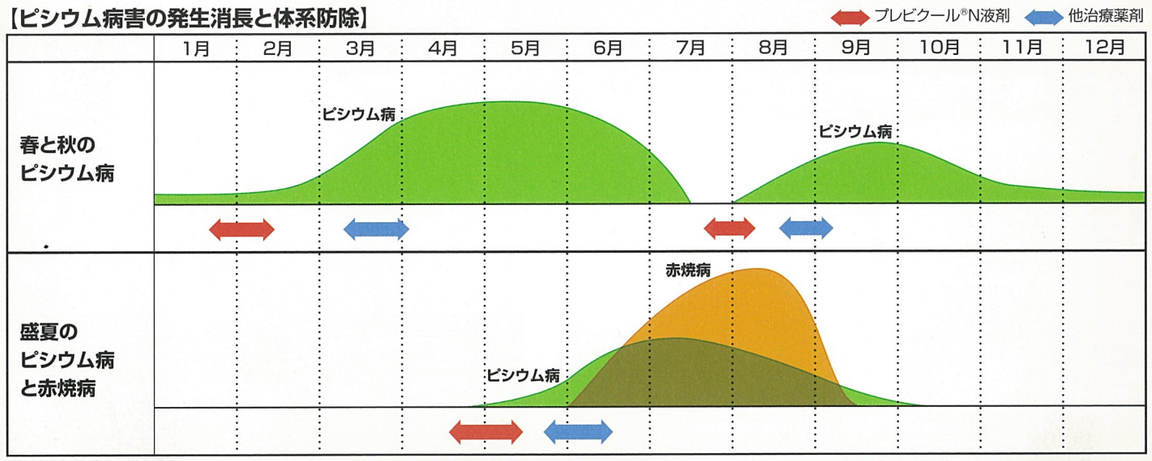
*は本剤およびプロパモカルブ塩酸塩を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	総使用回数*		使用方法
					本剤	プロパモカルブ塩酸塩	
西洋芝（ベントグラス）	赤焼病	400～600	1 ℓ/m²	発病初期	8回	8回	散布
	ピシウム病	500	0.5 ℓ/m²				

上手な使い方

プレビクールN液剤は、ベントグラスの赤焼病、ピシウム病に優れた効果を示すとともに、耐性菌出現の心配が少ないため、基幹防除剤として使用できます。
発病前から予防的にプレビクール®N液剤を使用し、他のピシウム病に有効な薬剤との体系防除がおすすめです。

【ピシウム病害の発生消長と体系防除】



⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤は酸性溶液なので、金属の器具、溶液を使用した場合は、使用後よく水洗してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬剤調製時には眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払ってください。

■包装：1 ℓ×10本

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

この資料は2018年2月現在の登録に基づいて作成しています。

販売 株式会社 理研グリーン
〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 http://www.rikengreen.co.jp

販売元 株式会社 ニッソーグリーン
〒110-0005 東京都台東区上野3丁目1番2号
☎03-5816-4351 http://www.ns-green.com/

製造元 日本曹達株式会社
本 社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

No.12376R 18.02 CC 5,000

(株)理研グリーン・パートナーショップ

農林水産省登録
第17198号

芝用殺菌剤

日曹 プレビクール®N 液剤

プロパモカルブ塩酸塩液剤

Previcur® N

®はバイエルクロップサイエンス(株)の登録商標

包装規格：1ℓ×10

ベントグラスのピシウム病専用剤

緑をつくり、育て、守る。
株式会社 理研グリーン

特 長

1. ピシウム性病害に卓効
卵菌類・藻菌類による病害に特異的に効果を示し、ベントグラスの赤焼病及びピシウム病に高い防除効果を発揮します。

2. 予防効果と進展阻止効果が高い
病原菌の感染・侵入阻止（予防効果）が特に優れており、また病原菌の進展阻止、胞子形成阻害などの効果も併せ持っています。

3. 浸透性が強い
浸透性が強く、茎葉部へ移行して効果を発揮します。

4. 耐性菌の心配が少ない
これまで耐性菌の出現は認められておらず、薬剤耐性の心配はほとんどありません。
FRACコード：28

5. 薬害が少ない
作物に対する薬害の心配が少ない薬剤です。

成分・性状

商品名　：プレビクール®N液剤
一般名　：プロパモカルブ塩酸塩
化学式　：プロピル＝3-（ジメチルアミノ）プロピルカルバマート塩酸塩

構造式　：$\begin{matrix}CH_3\\CH_3\end{matrix}\!\!>\!N\text{-}(CH_2)_3\text{-}NH\text{-}COOC_3H_7\cdot HCl$

含有量　：プロパモカルブ塩酸塩……64.0%
性　状　：淡黄色澄明水溶性液体

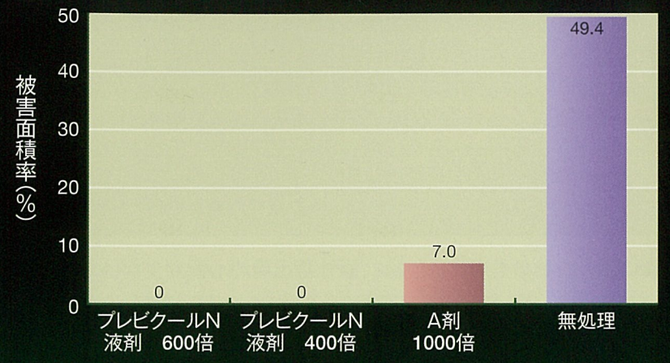
安全性

■人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
急性毒性
経口　ラット♂（LD_{50}）：2900mg/kg
　　ラット♀（LD_{50}）：2000mg/kg
経皮　ラット（LD_{50}）　：>3000mg/kg

■水産動物植物に対する影響
コイ　（LC_{50}）：>100mg/ℓ（96hr）
ミジンコ（LC_{50}）：>100mg/ℓ（48hr）
藻類　（ErC_{50}）：＞　85mg/ℓ（72hr）

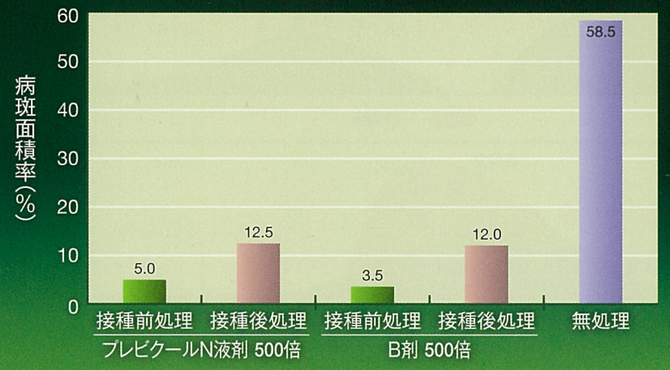
試験成績

【赤焼病に対する効果】

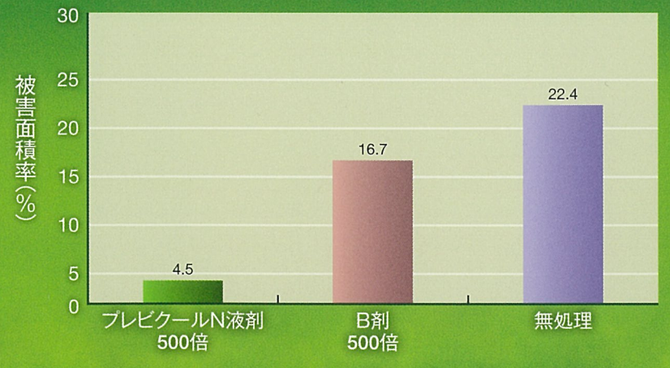


1988年　千葉大学園芸学部
発生状況：多発生（接種）
品　　種：ハイランドベントグラス
散　　布：7/6、13、20、27、8/3、10　合計6回
処 理 量：1ℓ/m²
調　　査：8/24

【ピシウム病に対する効果】



2000年　近畿大学農学部
発生状況：甚発生（接種）
品　　種：ペンクロス
散　　布：6/11（接種1日前）、6/14（接種2日後）
調　　査：6/22



2000年　関西グリーン研究所
発生状況：少～中発生（接種）
品　　種：ペンクロス
散　　布：9/11（散布5日後に接種）
調　　査：9/19